遠い初勝利…

駒大7－12専大

序盤で勝負決まる

写真＝菊池美紀
山田遼太郎
文＝山田遼太郎

1回戦
10年秋季リーグ
第3週・9月21日
0勝1敗

駒	大	110	200	012	7
専	大	506	000	01×	12

【駒　大】	打安点
⑥　岡	4 2 1
④赤　木	2 1 1
⑤白崎浩	4 0 1
DH 北　畠	3 0 0
HD 柳　原	2 0 0
⑦山　下	4 2 0
R7 嘉数駿	1 0 0
⑨山　本	2 0 0
9奥　野	1 0 0
PH 森　田	1 0 0
9中　谷	0 0 0
⑧小　林	4 2 1
②上村新	3 1 0
PH 戸　柱	1 0 0
PR 増　本	0 0 0
2　東	0 0 0
③笠　間	4 2 2
計	36106

▽三塁打＝笠間、赤木
▽本塁打＝岡、小林

	回		打安責
●白崎勇	2	1/3	22710
栗　林	2	2/3	1241
友　滝	1	1/3	820
小　倉	1	2/3	921

［上］制球に苦しむ白崎勇

先発・白崎勇気（営3）は球審の判定に苦しみ、序盤から大量リードを許す。拓大戦で3得点のみに終わった打線が7点を返し、一矢を報いるが、開幕連敗の流れを断ち切ることができず敗戦。入替戦進出に向け早くも正念場を迎えた。

序盤で11失点と試合をつくれなかった先発バッテリーに、小椋正博監督はあきれた表情を浮かべるしかなかった。開幕連敗の流れを断ち切れなかった試合内容に「何を言い訳しても駄目。2人がしっかりしてもらわないと困る」とのコメントで活を入れた。

予兆はあった。球審の判定が厳しく、エースの得意球である外角ストレートがことごとくボールに。初回から4つの四死球を許し、5点を先制された。女房役の上村新（営4）も「審判のせいにはしたくないが、思い通りにならなかった」。

3回にも白崎勇の野手選択などが絡み得点を許す。さらに、1死満塁の場面で栗林駿一（経2）がマウンドに上がると、左翼席中段に打球を運ばれ、この回だけで6失点。試合を決められ3連敗を喫した。

自身、最短降板となった背番号18は「申し訳ない。自分でもストライクと思う球はあったけど…まだまだ力不足」と、敗戦の責任を背負った。

それでも明るい材料はある。拓大戦の2試合で3得点のみに終わった打線は、この試合で7点を奪取。岡将吾（法3）、小林勇登（経2）に本塁打が飛び出し、9番に打順を下げている主将・笠間将裕（商4）も2安打2打点の活躍を見せた。

投打がかみ合い、春季リーグ同様、「常勝気流」に乗れば、1部校との入替戦も見えてくる。逆に、今カードで勝ち点を落とせば、厳しい状況に陥る。優勝に向け大きな山場を迎えた。

［下］4回、右中間適時三塁打を放ち、2打点を挙げた主将・笠間

専大2－5駒大

2回戦
10年秋季リーグ
第3週・9月22日
1勝1敗

専	大	020	000	000	2
駒	大	000	220	01×	5

【駒　大】	打安点
⑥　岡	4 0 0
④赤　木	4 1 0
⑤白崎浩	2 1 0
DH 北　畠	2 0 0
⑦山　下	2 1 2
③笠　間	2 0 0
⑧小　林	4 2 2
⑨奥　野	2 0 0
PH 柴　田	1 0 0
9中　谷	1 0 0
9嘉数駿	1 0 0
②上村新	0 0 0
H2 戸　柱	3 0 0
計	3654

▽二塁打＝山下

	回	打安責
井　口	2	1142
○白崎勇	7	2830

絶対に負けられない一戦。開幕戦からの3連敗で迎えた4戦目。この試合を落としたら、1部昇格への道がほぼ閉ざされてしまう中で、先発の井口が2回、ソロ本塁打を2本浴び、先制点を許す。序盤から専大打線につかまり、勝利に暗雲が立ち込める。

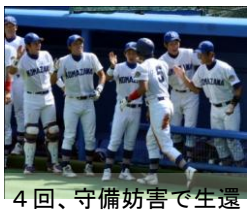
なんとか同点に追い付きたい駒大は、4回、相手の走塁妨害などで2点を追加。試合を振り出しに戻す。迎えた5回。2死満塁の場面での打席は、開幕戦から毎試合安打という好調の山下。「手応えはあった」と言うように、打球は左越え。2点適時打で勝ち越し、流れを引き寄せる。小椋正博監督からも「あいつは本当に勝負強い」という言葉通り、期待に応える。

そこからは3回途中から登板した白崎勇が奪三振8と好投し、追加点を許さず。8回には小林勇登（経2）の中前適時打で試合を決め、今季初白星で試合を終えた。

山下高久雅（法3）が試合を決めた。同点で迎えた5回、2死満塁の好機で勝ち越しとなる2点適時二塁打を放った。投手陣は先発・井口拓皓（経2）がソロ本塁打を浴び、3回途中で降板するが、その後は白崎勇気（営3）がしっかり抑え、今季リーグ戦初勝利を収めた。

今季初勝利！

5回、勝ち越しの適時二塁打を放つ山下



4回、守備妨害で生還した白崎浩を迎え、盛り上がるベンチ

写真＝丸山翔太
水出綾香
文＝堀江あゆみ